

# 人間ドック・健診における検査結果の研究利用について

当健診センターでは、人間ドックや健診（特定健診や企業健診など）を受診された方の検査データを研究目的で利用することがあります。研究は生活習慣と生活習慣病との関連について調査され、個人が特定できない形で、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがあります。研究から得られた結果は、健診の内容や質の向上につながり、受診者の皆さまの将来の健康作りに役立つ形で還元されることが期待されます。

この情報公開は、私たちが行っている研究を受診者様にご理解いただくための説明書です。

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<b>&lt;研究課題名&gt;</b> 不健康生活習慣保有数と生活習慣病罹患との関係について ～2014年と2019年の健診・人間ドックデータを使用して～
<b>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</b> 日本大学大学院医学研究科 社会医学系 衛生・公衆衛生学専攻 大学院生 佐藤昭寿 日本大学医学部 社会医学系 公衆衛生学分野 教授 兼板佳孝
<b>&lt;研究期間&gt;</b> 承認日 ～ 令和 6 (西暦 2024) 年 3 月 31 日
<b>&lt;研究の目的と意義&gt;</b> 生活習慣病は、今や健康長寿の最大の阻害要因となるだけでなく、国民医療費にも大きな影響を与えています。今後超高齢化社会を迎える我が国において、生活習慣病対策としての予防を重視した取り組みへの転換を進めていくことは、将来の医療費増加の抑制という意味で重要であります。 本研究では、健康診断・人間ドックでの検査結果や質問項目のデータを利用し、睡眠休養不足、早食い、運動不足、飲酒、喫煙などの不健康生活習慣保有数が、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の発症にどのように影響を及ぼしているのかを解明することを目的としました。
<b>&lt;利用する試料・情報の項目&gt;</b> 健康診断・人間ドックでの検査記録より、身長、体重、血圧、血液検査（空腹時血糖値、HDL コレステロール、中性脂肪）、薬剤（降圧薬、糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬）使用の有無、生活習慣（喫煙、運動習慣、早食い、飲酒習慣、睡眠休養不足）のデータを使用いたします。
<b>&lt;対象となる方&gt;</b> シンワメディカルリゾート（千葉県八千代市）で2014年度（2014年4月1日～2015年3月31日）と2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）両方の年度に健診または人間ドックを受けた方を対象といたします。
<b>&lt;研究の方法&gt;</b> 2014→2019年度の健診・人間ドックでの検査結果を参照し、生活習慣病（肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症）の新規発症に際して、不健康生活習慣<睡眠休養不足、食事リスク（早食い）、運動不足、飲酒リスク、習慣的な喫煙>保有数がどのように影響しているか統計解析を行い解明していきます。
<b>&lt;外部への試料・情報の提供の方法&gt;</b> 日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野へのデータ提供は、電子記録媒体で特定の関係者以外がアクセスできない状態でいます。受診者さん等の情報（氏名やIDなどの個人情報）は数字や記号などコードを付して対応表を作成し、受診者さん等個人と結びつかない状態で取り扱われます。対応表は提供元の医療法人社団心と会にて管理し、当院外へ提供することはありません。
<b>&lt;研究組織&gt;</b> 日本大学大学院医学研究科 社会医学系 衛生・公衆衛生学専攻 大学院生 佐藤昭寿 日本大学医学部 社会医学系 公衆衛生学分野 教授 兼板佳孝
<b>&lt;既存試料・情報の提供のみを行なう機関&gt;</b> 医療法人社団心と会 研究責任者 佐藤昭寿
<b>&lt;お問い合わせ窓口&gt;</b> シンワメディカルリゾート（千葉県八千代市米本 2167-8） 研究責任者 佐藤昭寿 電話：0120-01-8121 FAX：047-488-1121